未活用労働指標の国際比較

労働力調査では、雇用情勢をより多角的に把握するために、平成 30 年 1 月から調査票を変更し、就業者、完全失業者、非労働力人口といった就業状態に加えて、就業者の中でもっと働きたいと考えている者や、非労働力人口の中で働きたいと考えている者などを未活用労働として新たに把握し、複数の未活用労働に関する指標として、詳細集計において平成 30 年 $1\sim3$ 月期から公表を開始しました。未活用労働に関する指標の公表は国際動向に沿うものです。

本稿では、平成30年4~6月期平均*の未活用労働を含む日本の雇用の特徴を欧州4か国の状況と比較してご紹介します。

※ 日本は平成30年4~6月期平均、総数は15歳以上人口の数値、欧州4か国(イギリス、ドイツ、フランス、イタリア)は平成30年1~3月期平均、総数は15~74歳の数値を使用します。

「未活用労働指標」とは

労働力調査で公表する未活用労働に関する各指標は、国際労働機関(ILO)の開催する国際労働統計家会議の第19回大会(2013年)において定められた国際基準に準拠しています。未活用労働は、失業者(右図B)、パートタイム等の就業者の中で仕事を追加したい者(A,追加就労希望就業者)、非労働力人口の



中で、仕事に就くことを希望しているが、今は仕事を探していない者等(C,潜在労働力人口)から成ります。ここでは、ILOの基準に準拠し、性別、年齢別のデータを取得できるイギリス、ドイツ、フランス、イタリアと日本の状況を、未活用労働指標 4(LU4)を使用して比較します。LU4は、下記の式で表される指標で、最も包括的に未活用労働を捉えるものです。

なお,未活用労働指標の定義等の詳細は,「<u>未活用労働指標の解説</u>」(統計局HP)をご参照ください。

日本の未活用労働指標4は他国と比べて低く、潜在労働力人口の割合は非常に低い

図1は、各国のLU4とその内訳(「労働力人口」と「潜在 労働力人口」の合計に占める「失業者」、「追加就労希望就 業者」及び「潜在労働力人口」の割合)を示しています。

日本では雇用情勢が着実に改善していることから,LU4も低く,就業可能で就業を希望する人の多くは,就業に結びついているものと考えられます。LU4の内訳にみる失業者の割合が比較的近いイギリス,ドイツと比べると,追加就労希望者と失業者の割合が同程度であることは共通しますが,潜在労働力人口の割合は非常に低いといえます(図1,表1)。



5か国の中ではイタリアのみ、潜在労働力人口の割合が追加就労希望就業者を上回っています。イタリアでは 失業率が高い状態が続いていることから、潜在労働力人口に含まれる、就業希望があり、就業可能であるものの 失業の長期化等により求職意欲を失った者などが多くなっていると考えられます。

日本の未活用労働指標4は15~24歳の若年層でみても他国と比べて低い

年齢別にみると、各国とも、 $15\sim24歳$ (若年層)の各項目の割合は、総数(図1)でみたときの倍程度となっています(図2、表1)。

また,若年層でみても,日本の未活用労働の割合は低い水準であり,LU4の内訳をみると,他国に比べ,潜在労働力人口の占める割合が小さくなっています。



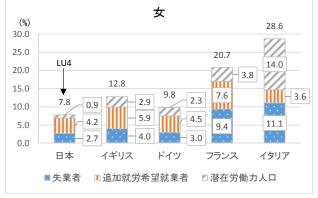
未活用労働指標4の内訳は、男性と比べて、女性では追加就労希望就業者の占める割合が高い

男女別にみると、各国とも、女性に比べ男性のLU4が低くなっています。内訳をみると、各国ともに、失業者の占める割合では男女に大きな差はありませんが、追加就労希望就業者の占める割合では女性の方が高いことがわかります(図3、表1)。

また、男女別でみても、日本の未活用労働の割合は低い水準であり、LU4の内訳をみると、他国に比べ、潜在 労働力人口の占める割合が小さくなっています。



図3 LU4の内訳(男女別)

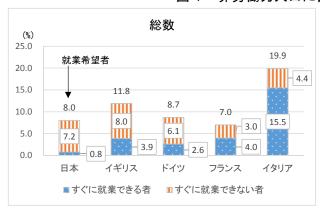


就業希望の非労働力人口では、すぐに就業できない者が多い

前述のとおり、LU4の内訳をみると、潜在労働力人口の割合が極めて小さいことが日本の特徴となっています。 潜在労働力人口は、日本ではその多くを就業可能非求職者が占めています。就業可能非求職者は、非労働力人口で就業を希望する者(就業希望者)のうち、就業可能時期が「すぐつける」者を指します。本稿では、就業可能非求職者を「すぐに就業できる者」、それ以外の就業希望者を「すぐに就業できない者」と表記します。「すぐに就業できない者」は、国際基準に基づく未活用労働には該当しません。

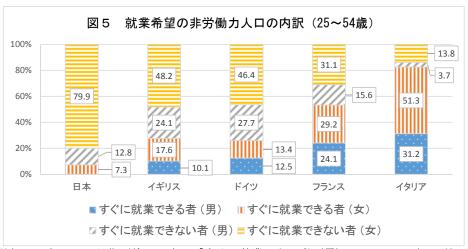
非労働力人口に占める「すぐに就業できる者」の割合は、他の4か国に比べ日本ではかなり低くなっている一方、就業希望者全体の割合はドイツ、フランスと同程度となっています。特に、25~54歳では、「すぐに就業できる者」の割合は低いものの、非労働力人口に占める就業希望者全体の割合はイギリス、ドイツ、フランスを上回ります。日本では、就業希望者自体は少なくないものの、「すぐに就業できない者」が多いことがわかります(図4、表2)。

図4 非労働力人口に占める就業希望者の割合





25~54歳の就業希望者の内訳を構成比でみると、日本では9割以上が「すぐに就業できない者」となっており、 その大部分が女性であることがわかります(図5,表3)。



注) 2018年4~6月期平均の日本の「すぐに就業できる者(男)」は0万人(0.0%) のためグラフに示していない。

25~54歳の就業希望者のおよそ8割を占める,女性の「すぐに就業できない者」を非求職理由別にみると,「出産・育児のため」が最も多く47.9%,次いで「健康上の理由のため」が13.7%,「適当な仕事がありそうにない」のうち「勤務時間・賃金などが希望にあう仕事がありそうにない」が11.6%となっています(図6)。

非求職理由別すぐに就業できない者の内訳(女.25~54歳) 図 6 適当な仕事がありそうにない (総数:143万人) 適当な仕事がありそうにない (近くに仕事がありそうにない) (勤務時間・賃金などが希望にあ 3.4%(5万人) う仕事がありそうにない) 介護・看護のため その他 11.6%(17万人) 5.5%(8万人) 10 3%(15万人) 出産・育児のため 47.9%(70万人) 適当な仕事がありそうにない 適当な仕事がありそうにない 健康上の理由のため (自分の知識・能力にあう仕事が (その他) 13.7%(20万人) ありそうにない) 3.4%(5万人) 4.1%(6万人) 0% 20% 30% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

- 注1)割合は、非求職理由別内訳の合計に占める割合を示す。
- 注2)数値は、万人単位で表章(千の位で四捨五入)しているため、また、年齢階級別数値を足し上げているため、総数と内訳 の合計が一致しない場合がある。
- 注3) 「適当な仕事がありそうにない」のうち「今の景気や季節では仕事がありそうにない」は0万人(0.0%)のためグラフに示していない。

表 1 国、年齢階級別未活用労働、未活用労働指標 4 の内訳

(万人)

		男女計					男					女				
		日本	イギリス	ドイツ	フランス	イタリア	日本	イギリス	ドイツ	フランス	イタリア	日本	イギリス	ドイツ	フランス	イタリア
総数	労働力人口	6862	3344	4310	2973	2581	3827	1769	2311	1538	1476	3035	1575	1999	1435	1105
	失業者	186	139	156	287	300	104	75	96	147	158	83	65	60	140	143
	追加就労希望就業者	187	147	132	154	73	57	51	39	42	27	130	95	92	113	46
	潜在労働力人口	37	90	96	105	311	11	43	49	49	131	27	47	47	56	179
15~24歳	労働力人口	599	423	424	279	153	303	220	230	154	90	296	203	194	124	63
	失業者	29	48	27	60	52	15	27	16	34	28	14	21	11	27	23
	追加就労希望就業者	28	37	11	23	6	14	18	5	9	3	14	19	6	15	4
	潜在労働力人口	7	31	21	22	45	3	16	12	12	24	4	15	9	10	21
25~54歳	労働力人口	4198	2288	2916	2196	1922	2322	1205	1560	1134	1086	1875	1083	1356	1062	836
	失業者	112	70	100	192	220	59	36	62	95	111	53	35	39	98	109
	追加就労希望就業者	113	88	96	108	57	22	25	27	27	21	90	63	70	81	36
	潜在労働力人口	16	40	51	63	216	0	16	25	27	82	16	25	27	36	134
55歳以上	労働力人口	2066	633	970	498	506	1202	344	522	250	300	864	289	448	248	206
	失業者	46	21	29	34	29	30	12	18	19	19	16	9	11	15	10
	追加就労希望就業者	46	22	24	23	10	20	9	8	6	4	26	13	17	18	6
	潜在労働力人口	13	19	24	20	49	7	11	13	10	25	7	8	12	10	24

(%) 男女計 女 日本 イギリス ドイツ フランス イタリア 日本 イギリス ドイツ フランス イタリア 日本 イギリス ドイツ フランス イタリア 未活用労働指標4 総数 7.8 5.9 11.0 8.7 17.7 23.7 4.5 9.3 7.8 14.9 19.7 12.8 9.8 20.7 28.6 失業者 2.7 3.5 10.4 2.7 4.1 2.7 3.0 4.1 9.3 4.1 9.3 9.8 4.0 11.1 追加就労希望就業者 2.7 4.3 3.0 5.0 2.5 1.5 2.8 1.7 2.6 1.7 4.2 5.9 4.5 7.6 3.6 潜在労働力人口 0.5 10.7 2.1 2.3 14.0 2.6 2.2 3.4 0.3 2.4 3.1 8.2 0.9 2.9 3.8 15~24歳 未活用労働指標4 10.6 25.6 13.3 35.0 52.0 10.5 26.0 13.9 32.6 48.3 10.7 25.2 12.6 38.1 57.3 失業者 4.8 10.7 6.1 20.1 26.1 4.9 11.5 6.8 20.3 24.8 4.7 9.8 5.2 19.9 27.8 追加就労希望就業者 4.6 7.7 3.1 4.6 2.2 4.7 2.9 10.8 4.2 7.5 5.2 8.7 1.2 7.2 22.9 4.9 4.4 7.4 25.4 潜在労働力人口 6.8 4.7 1.0 6.9 7.0 21.1 1.3 6.7 未活用労働指標4 5.7 25~54歳 8.5 8.4 16.1 23.1 3.5 6.2 7.1 12.8 18.3 8.4 11.1 9.7 19.5 28.8 失業者 2.7 3.0 3.4 8.5 10.3 2.5 2.9 3.9 8.2 9.5 2.8 2.8 8.9 11.3 3.1 追加就労希望就業者 3.7 2.7 3.8 3.2 4.8 2.7 0.9 2.0 1.7 2.3 1.8 4.8 5.7 5.0 7.4 潜在労働力人口 1.5 7.1 1.9 13.8 0.4 1.7 1.7 10.1 1.3 2.3

7.8

2.9

2.5

2.4

14.8

6.5

4.5

3.8

15.8

5.2

1.8

8.9

9.5

3.2

3.4

2.9

5.1

2.2

2.2

0.6

55歳以上

未活用労働指標4

潜在労働力人口

追加就労希望就業者

失業者

4.7

2.5

1.7

0.6

9.1

3.3

2.6

3.2

7.0

3.3

1.4

2.4

13.2

7.2

2.2

3.9

14.6

5.8

1.1

7.7

5.6

1.8

3.0

8.0

10.0

3.0

4.4

2.6

8.7

2.5

3.7

2.5

16.4

5.9

6.8

3.7

17.6

4.3

2.7

10.6

注) 日本の「総数」は「15歳以上人口」の数値,欧州4か国の「総数」は「15~74歳」,「55歳以上」は「55~74歳」の数値。

表 2 国、年齢階級別就業希望の非労働力人口、非労働力人口に占める割合

(万人) 男女計 女 日本 | イギリス | ドイツ | フランス | イタリア 日本 | イギリス | ドイツ | フランス | イタリア 日本 イギリス ドイツ 「フランス」イタリア 総数 非労働力人口 就業希望の非労働力人口 すぐに就業できる者 すぐに就業できない者 15~24歳 非労働力人口 就業希望の非労働力人口 すぐに就業できる者 すぐに就業できない者 25~54歳 非労働力人口 就業希望の非労働力人口 すぐに就業できる者 すぐに就業できない者 55歳以上 非労働力人口 就業希望の非労働力人口 すぐに就業できる者 すぐに就業できない者

																(%)
		男女計					男					女				
		日本	イギリス	ドイツ	フランス	イタリア	日本	イギリス	ドイツ	フランス	イタリア	日本	イギリス	ドイツ	フランス	イタリア
総数	就業希望の非労働力人口	8.0	11.8	8.7	7.0	19.9	6.3	12.4	9.2	7.0	20.4	8.9	11.4	8.4	6.9	19.5
	すぐに就業できる者	0.8	3.9	2.6	4.0	15.5	0.7	4.6	3.1	4.5	16.6	0.9	3.3	2.3	3.6	14.8
	すぐに就業できない者	7.2	8.0	6.1	3.0	4.4	5.6	7.8	6.1	2.6	3.8	8.1	8.1	6.1	3.3	4.7
15~24歳	就業希望の非労働力人口	10.3	13.6	7.6	4.8	18.3	9.3	13.9	7.8	5.7	19.0	11.4	13.2	7.4	4.0	17.7
	すぐに就業できる者	1.0	5.2	2.4	2.8	10.1	0.9	6.1	2.7	3.6	10.8	1.0	4.2	2.1	2.2	9.4
	すぐに就業できない者	9.4	8.4	5.2	2.0	8.2	8.4	7.8	5.1	2.1	8.1	10.4	9.0	5.4	1.8	8.4
25~54歳	就業希望の非労働力人口	30.1	26.3	22.9	26.0	45.5	22.5	31.1	29.1	34.8	58.9	31.6	24.3	20.0	22.3	40.5
	すぐに就業できる者	2.2	7.3	5.9	13.9	37.5	-	9.2	9.0	21.1	52.7	2.6	6.5	4.5	10.8	32.0
	すぐに就業できない者	27.9	19.0	17.0	12.1	7.9	22.5	21.9	20.1	13.6	6.2	29.0	17.8	15.5	11.5	8.6
55歳以上	就業希望の非労働力人口	3.0	5.0	3.7	2.3	5.6	3.8	6.6	4.2	2.3	6.7	2.6	3.8	3.2	2.2	4.8
	すぐに就業できる者	0.4	1.9	1.5	1.5	5.0	0.5	2.7	1.6	1.7	6.1	0.3	1.3	1.4	1.4	4.3
	すぐに就業できない者	2.6	3.1	2.2	0.7	0.6	3.2	3.8	2.6	0.7	0.6	2.3	2.5	1.9	0.8	0.5

注) 日本の「総数」は「15歳以上人口」の数値、欧州4か国の「総数」は「15~74歳」、「55歳以上」は「55~74歳」の数値。

表3 国別就業希望の非労働力人口(25~54歳)

(万人) (%)

		(7374)										
		実数	実数割合									
		日本	イギリス	ドイツ	フランス	イタリア	日本	イギリス	ドイツ	フランス	イタリア	
男女計	就業希望の非労働力人口	179	90	95	80	253	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
男	すぐに就業できる者	0	9	12	19	79	_	10.1	12.5	24.1	31.2	
女	すぐに就業できる者	13	16	13	23	130	7.3	17.6	13.4	29.2	51.3	
男	すぐに就業できない者	23	22	26	12	9	12.8	24.1	27.7	15.6	3.7	
女	すぐに就業できない者	143	43	44	25	35	79.9	48.2	46.4	31.1	13.8	

<未活用労働指標について>

- 未活用労働指標についての詳細は、以下をご参照ください。
- ・労働力調査 未活用労働指標の解説

<使用した数値について>

- 〇 本文及び図表で使用した数値は労働力調査(詳細集計)結果及びEurostat から取得したデータに基づいて作成しています。日本は平成30年4~6月期平均,総数は15歳以上人口の数値,欧州4か国は平成30年1~3月期平均,総数は15~74歳の数値です。詳細は、以下をご参照ください。
- ・労働力調査(詳細集計)結果原表 2018年4~6月期 第I-1表 就業状態・新規就業者・転職者・現職の雇用形態についている理由・求職理由・前職の離職理由・失業期 間・探している仕事の形態・就業希望の有無・非求職理由,年齢階級別15歳以上人口
- ・<u>労働力調査(詳細集計)結果原表 2018年4~6月期 第 IV-3表</u> 求職活動の有無及び時期・年齢階級・世帯の種類・世帯主との続き柄・教育,前職の有無・非求職理由別 就業希望の非労働力人口
- Eurostat Employment and unemployment (LFS) Data
 LFS main indicators (1fsi)
 - Supplementary indicators to unemployment quarterly data (lfsi_sup_q)

LFS series - detailed quarterly survey results (1fsq)

- Population by sex, age, citizenship and labour status (lfsq_pganws)
- Inactive population not seeking employment by sex, age and willingness to work (lfsq_igaww)

(2018年8月31日掲載)